

令和2年度 学校評価 自己評価表

I 児童生徒アンケートの集計結果と保護者アンケートの集計結果（別紙）

II 全体評価と特記事項：活動の実態や上記のアンケート結果、教職員の意見交換より

数値評価	3.7
特記事項	<p>○教育方針やステージ別目標、学習定着プログラムに対し、大方賛同を得ています。一方、児童生徒自身が、日々の生活で、学校や学級の目標を個人的に意識していくことが望まれます。</p> <p>○今年度は ENG プログラムがリモートレッスンとなりましたが、例年とほぼ同様の支持を得ることができました。</p> <p>○礼儀の基本である挨拶が、児童生徒の心掛けほどには、まだ外に伝わっていない実態も浮かびます。（生徒：小 3.5/中 3.4 保護者：小 3.3/中 3.1）これからも課題意識を持ち、指導していきたいと思えます。</p> <p>○その他のコメントでは、感謝の言葉や、生徒指導に関する気づき、駐車場での(大人の)マナーに関する事など様々な内容がありました。善処できることを形にしながら、子ども達一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう努力していきたいと思えます。</p> <p>○英語教育に関しては、今年度も引き続き、長崎県下の公私立小中学校の先生方を対象に、本校の事業取組について実践報告会を行う予定でした。COVID-19 の影響で他校の先生の来校は叶いませんでしたが、パワーアップ事業の評価委員と長崎県総務部学事振興課の先生方にご来校いただき、小規模ながら報告会を行い、貴重なご意見をいただきました。また他校の先生方有志からは実践報告書に対するコメントをいただきました。事業実践について、評価委員から、「十分に成果あり」との評価をいただくことができました。</p>

以上